

Q ウイルスを消したら、
すぐに肝臓が元通りきれいになりますか？ 

A ウイルスに長く感染していた肝臓は傷んでいて、
治療でウイルスを消したとしても
すぐに元通りのきれいな肝臓になった[※]とは言えません。
再び元通りのきれいな肝臓になるには**時間がかかる**ので、
肝がんになる危険性があります。
※「肝臓がきれいになる」とは、「肝臓の線維化がとれる」ということです。



CHECK!

肝がんになりやすいのはこんな人

- 過去にC型肝炎またはB型肝炎にかかったことが一度でもある
(治療でウイルスを消している、あるいは抑えている人も含む)
- 治療前すでに肝硬変またはそれに近いと言われた
- 脂肪肝・非アルコール性脂肪肝炎 (NASH)
- アルコールをたくさん飲む
- タバコを吸う
- 太っている
- 高齢
- 糖尿病
- 家族に肝がんの人がいる



さらにこんな
場合も!

食べ過ぎてしまい、非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) に!!
肝炎の症状である体のだるさから解放され、元気に活動することでお腹が減ります。
食べ過ぎてしまい単純性脂肪肝になり、更に非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) になる事も!

おなか
減ったなあ...

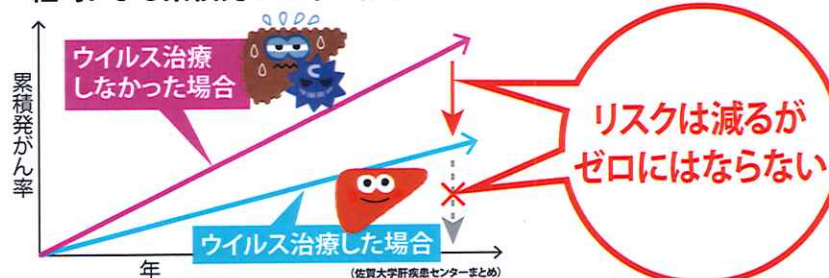


Q C型肝炎ウイルスが消えたら、発がんしませんよね？ 

A 飲み薬の治療でC型肝炎ウイルスが消えても
発がんする可能性が残っています。



経時による累積発がん率の推移比較 (イメージ)



※個人の発がん率が上昇することを示しているのではなく、多くの症例を観察して発がんした人の比率の違いを示しています。

肝がんの早期発見・治療が大切です

● 一般的な定期検査の内容

・血液検査



・AST ・ALT ・γGTP ・T-Bil ・Alb
・腫瘍マーカー (AFP, PIVKA-II)
・線維化マーカー (ヒアルロン酸、IV型コラーゲン7S, M2BPGI)

・エコー検査、肝硬度検査



・脂肪肝かどうかもエコー検査でわかります

・肝がんの有無・肝硬度測定

・CT/MRI検査



肝がんの有無がわかります

● 肝がんのスクリーニング検査の目安

- ・血液検査
- ・超音波 (エコー) 検査

↳ 3~6ヶ月ごと

治療前に肝硬変または近いと言われた人は特に

- ・CT/MRI検査

↳ 6~12ヶ月ごと

定期検査は車の定期点検と同じ!

ウイルス治療が終了した後は、たとえ症状がなくてもご自分に合った定期検査の計画を担当医と相談しましょう。



検査結果の見方

検査項目	基準値 <small>※基準値は測定によって異なる場合があります</small>	備考
AST (GOT)	13-30 U/L以下	肝臓の細胞に含まれている酵素で肝臓の細胞が壊れると血液中に出てきます。肝炎の程度を反映してこの値が上昇します。肝臓病があっても基準値内のこともあります。
ALT (GPT)	男性10-42・女性 7-23 U/L	
γ GTP	男性13-64・女性 9-32 U/L	肝臓で作られる酵素でたんぱく質の分解や合成をする働きがあります。肝臓や胆管の細胞や胆汁中に存在します。肝臓病により肝機能が低下して胆汁の流れが悪くなったり胆管細胞が壊れるとこの値は上昇します。また、アルコール多飲や薬物などが原因で過剰に作られても高くなります。
T-Bil (総ビリルビン)	0.4-1.5mg/dL	古くなった赤血球が壊れるときに作られる色素で黄疸の原因となります。胆汁の流れが妨げられたり、肝臓の働きが低下したりすると高くなります。
Alb (アルブミン)	4.1-5.1g/dL	肝臓で作られるたんぱく質の代表です。肝臓病が進行し肝機能が低下するとこの値が低下します。
AFP	9.5 ng/mL未満	がんが産生する物質で一般的に「腫瘍マーカー」と言われています。AFPとPIVKA-IIは肝がんの診断や治療効果判定に用いられます。いずれのマーカーも肝がんの早期には上昇しないこともあります。また、肝がんがなくても軽度上昇することがあります。なお、ワルファリンを飲んでいる方はPIVKA-IIは高値となるため結果の判定には注意が必要です。
PIVKA-II (ピブカ・ツー)	37.8 mAU/mL未満	
ヒアルロン酸	50 ng/mL以下	
IV型コラーゲン7S	6 ng/mL 以下	肝臓病が進行すると肝臓が硬くなる(線維化)ことがあります。これらは一般的に「線維化マーカー」と言われており、肝臓病が進行し肝臓が硬くなるとこの値は上昇します。
M2BPGi	基準値(-):1.00 以下	

肝疾患に関するお問い合わせは

新潟大学医歯学総合病院 肝疾患相談センター

TEL : 025-223-6192 FAX : 025-223-6193

MAIL : liver@med.niigata-u.ac.jp

月～金(祝日除く) 10:00～16:00



新潟県感染症対策・薬務課
TEL:025-280-5187/5200



ウイルス治療のゴールは
肝臓が元に戻る
新たなスタート



肝炎ウイルス治療後の
定期検査のススメ



どんな治療法があるの？

副作用はあるの？

治療期間はどのぐらい？

薬を飲んだら仕事に影響しない？

症状がないのに、病院に行くって？どうして？

治療費はどれくらいかかるの？

生活で気つけることはなに？

どこの病院へいけばいい？

治療費助成の受け方は？



肝炎のこと何でもご相談ください。

新潟県の肝疾患相談窓口は

新潟大学医歯学総合病院
肝疾患相談センター

025-223-6192

〈相談内容をまとめて、FAXやメールでご相談していただくことも可能です〉

FAX 025-223-6193 Eメールアドレス liver@med.niigata-u.ac.jp

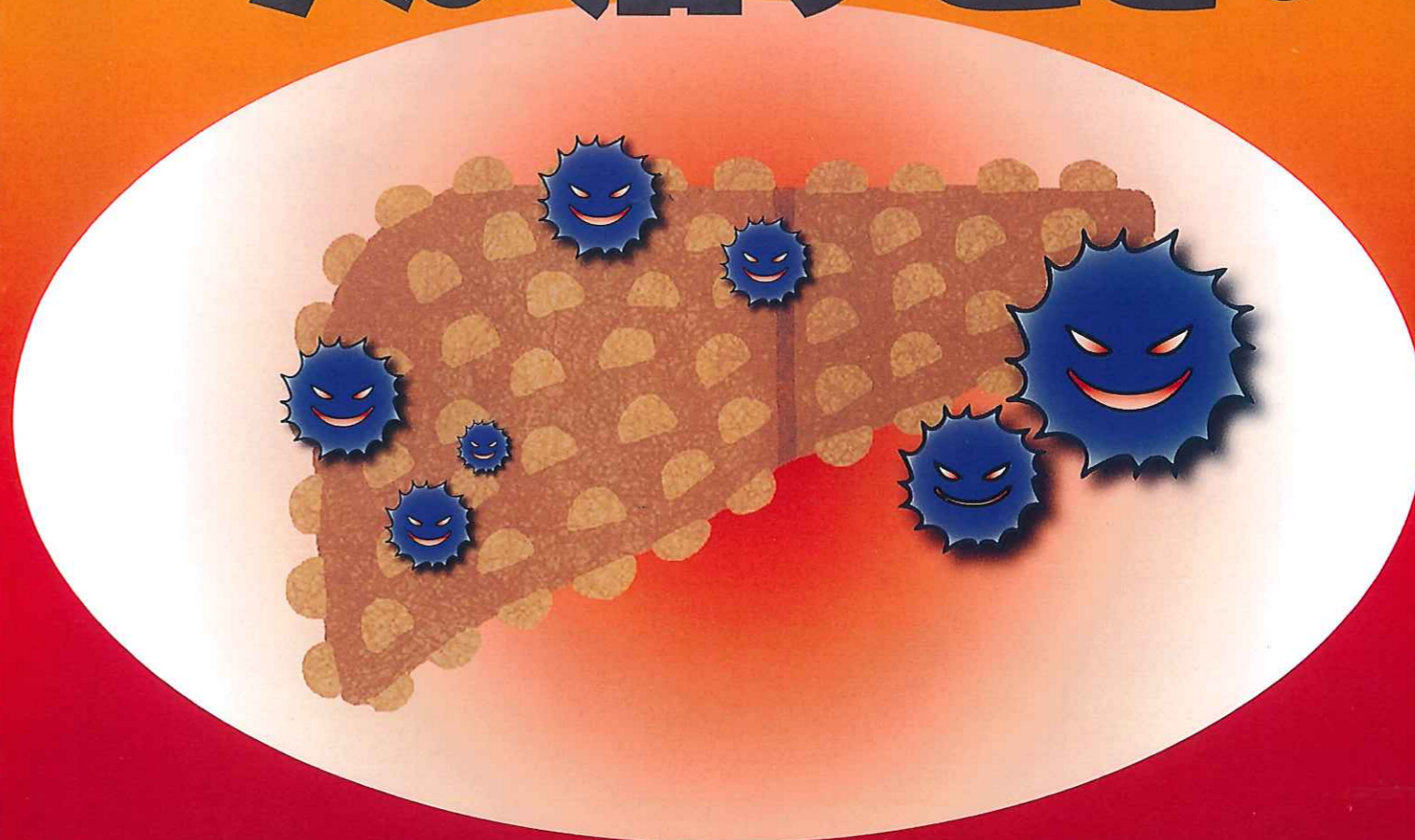
肝疾患相談センターホームページ <http://www.nuh.niigata-u.ac.jp/liv/>

(ホームページ内に県内の日本肝臓学会専門医の情報がありません。)

(画像は全てイメージです)

新潟県

肝炎ウイルス 今が治すとき!



入院しないで2ヶ月で
肝炎ウイルスを治す
飲み薬ができました



(画像は全てイメージです)

※ 病状により治療期間が変わることがあります。

肝機能の数値が基準内でも、肝がんへ進んでいることがあります。

新潟県の肝疾患相談窓口は

新潟大学医歯学総合病院
肝疾患相談センター

025-223-6192

肝炎ウイルス 今が治すとき!

精密検査について気になることは新潟県の肝疾患相談窓口にお電話を

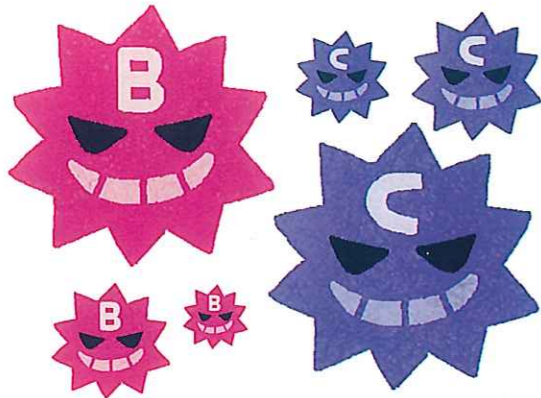
新潟大学医歯学総合病院
肝疾患相談センター

025-223-6192

精密検査で 現在の肝臓の状態を調べましょう!

■ウイルス量検査

血液中の肝炎ウイルス量や型を調べます。



■超音波検査

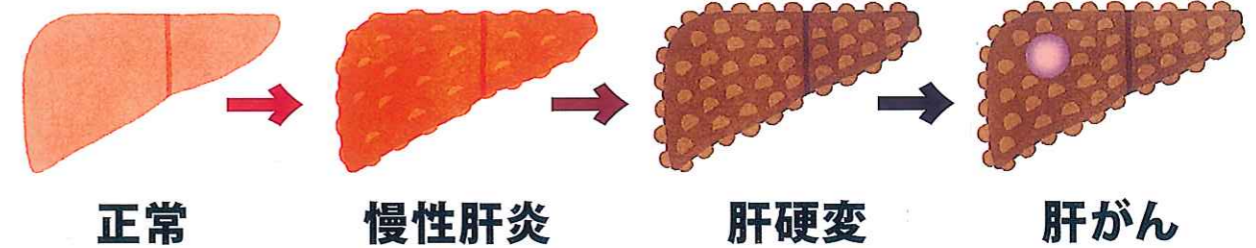
超音波で肝臓の状態を調べます。



肝炎ウイルスは、 肝炎、肝硬変、肝がんの原因です!

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、
肝炎が進行するまで、自覚症状は出現しません。

■肝炎ウイルスから発症する病気



場合によっては、慢性肝炎から突然肝がんを発症することもあります。

普段の生活をしながら、 飲み薬で肝炎ウイルスを やっつける方法もあります!

肝炎の薬は急速に進歩し、
近年飲み薬だけで肝炎ウイルスを
治療することもできるようになりました。

**入院の必要もないため、
仕事を休むことなく治療できます。**

※ 病状によっては入院して治療を受けることがあります。

2ヶ月飲むだけの薬も できました!

服用期間が2カ月の薬もあります。*

服用中は禁酒すること以外生活を変える必要はなく、
身体への負担もわずかです。

※ 病状によって、服用期間が6カ月になることや
注射による治療になる場合もあります。

ウイルス治療に 助成制度が利用できます!

助成制度を利用すれば、
治療費の自己負担額は最大でも
月2万円です。

〔自己負担額: 10,000円または20,000円[※] × 治療期間(月)〕
※ 世帯全員の市町村民税(所得税)課税年額によります

治療費助成を受けるためには、
医師の診断書が必要です。
まずは精密検査を受けましょう。



S-Ship通信



●新潟大学医歯学総合病院
肝疾患相談センター 特任助教

薛 徹

B型・C型肝炎ウイルスを撲滅せよ

2010年に施行された肝炎対策基本法には「肝炎は国内最大の感染症である」と明記されていました。肝炎ウイルスによってもたらされる肝不全・肝硬変によって、多くのヒトの命を脅かす、危険なウイルスとして認識され、国としても対策を講じられてきた経緯があります。以前は、肝炎ウイルス治療の主役は「インターフェロン」と呼ばれる注射であり、治療期間が長いだけでなく副作用も多く、治療を最後まで終えることができないケースもありました。さらに、治療を行ってもウイルスが体から消える確率は50～80%であり、決して治療の効果が十分とは言えない状況でした。しかし、最近ではB型肝炎ウイルスに「核酸アナログ製剤」、C型肝炎ウイルスに「直接作用型抗ウイルス薬」という薬が登場し、どちらも内服のみで治療が可能になりました。さらに、治療によってほぼ100%の治療効果を得ることができるだけでなく、副作用もほとんどありません。このことから、現在では世界的にB型・C型肝炎ウイルスは撲滅できる時代と認識され、積極的に検査・治療が行われています。肝炎ウイルス検査は自治体での検診や職場の検診、さらに保健所でも随時検査することが可能です。一度も検査を受けたことがない方は、ぜひ検査を受けてみてください。また、身近に検査をしたことがない人がいれば、積極的に検査を勧めてあげましょう。



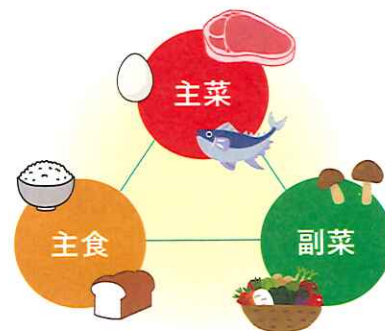
肝臓病と食事



肝臓は栄養を作り、蓄える臓器です。しかし、弱った肝臓ではそれらの働きが下がり低栄養となり、一方で過食は脂肪肝のリスクとなります。食事は偏りが無く、**バランスの良く適量な食事**をすることが大切です。

主食→体のエネルギー源
主菜→内臓や筋肉のもと
副菜→体の調子を整えたり便秘予防

現在の食事について不安な方は、一度、**栄養士**による栄養相談を考えてみてはいかがでしょうか。



ア ミ ノ レ バ ン レ シ ピ

チョコレートディップ



(1人前)

エネルギー/133kcal
たんぱく質/8.1g

トーストに塗れば、
簡単ココアジャム



作り方はQR codeを参照▶

今後の予定

肝臓病教室 3月頃(会場開催は行わずHPで動画を公開予定)



相談は
こちら
まで

TEL: 025-223-6192 (10:00~16:00)
FAX: 025-223-6193
E-mail: liver@med.niigata-u.ac.jp



FAX 相談送信表

新潟大学医歯学総合病院肝疾患相談センター行

FAX 025-223-6193

FAXのない方は、下記の住所へご郵送ください

〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通一番町754番地

ご相談項目

- ① 病気自体について
- ② 治療について
- ③ 検査について
- ④ 医療費助成制度について
- ⑤ 医療機関について
- ⑥ 食事・日常生活について
- ⑦ その他

ご相談の内容にあてはまる項目番号は

番です。

ご相談内容

お名前

年齢

歳 / 性別 男・女

ご住所

ご連絡先 TEL:

FAX:

E-Mail:

ご希望の返信

TEL ・ FAX ・ E-Mail 希望

いずれかに○をつけてください。

※ご送信いただきました患者さまの個人情報、当センターの相談業務に関する目的のみに使用させていただきます。